

※にいじまむら 議会だより

第72号

平成27年3月



平成27年第1回定例会（3月）

会 期 日 程

第1回定例会は平成27年3月9日から23日まで開催され、新年度予算、補正予算、条例改正などを審査しました。

も く じ

一般質問から……………	2
議長の自ラウンド……………	7
議長の四季報……………	8
編集後記……………	8

Q 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をただすことができます。

表紙は語る

4月某日、新島保育園の園児の遊戯風景。雨上がりのあいにくのくもり空の下、園児たちは、元氣いっぱい思い思いに好きな遊びをしている。お友達とおしゃべりを楽しんでいる姿や泥ダンゴ作りに夢中になって遊んでいる。4月から入園した子供たちは、まだ、慣れなくて泣いている姿も見られた。

園長の話では「いろいろと神経を使うこともあるが、日々成長していく園児を見守るのは楽しみであり、やりがいを感じる。」という。現在、園児は52名。このうち新入園児は24名。クラスは年長、年中、年少、2歳児の4クラスに分かれているとのこと。

山本均議員



式根島の介護施設はどのようなものに？

問

昨年、村は「式根島高齢者福祉施設検討委員会」を立ち上げ、意見を求め答申がされた。この答申を

どのように位置付け活用していくのか？

答

村としては基本的にとどのような施設を設置するとしてもはまゆう会に施設計画、運営をしてもらい、積極的に計画、財政等支援を行なう。プラスマインス面では答申の内容を精査し、継続的施設運営の可否、経常的に発生する運営費支援等を考慮し、式根島の介護福祉サービス充実のため具体的な検討に入っていく。



村の総合戦略はどのようなものか？

問 国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を受けて村は今年度「地方版総合戦略計画」の策定をする。この計画の事業はどんなものか？

答 28年度以降の予定として定住化対策および農業・漁業・観光業等の村産業の後継者づくりを併せた事業等を盛り込んでいく。

問 観光の新たな展望は？

答 村長は新島村の観光をどんなイメージで売り出そうとしているのか？

問 海であり自然であり他にない特徴の施設、文化、人が

答 海であり自然であり他にない特徴の施設、文化、人が

魅力で、都会の喧騒を離れた異空間を味わってもらいたい。

問 今年度の事業はどんなプロセスを経て実施の運びと

なったのか？

答 既存施設の整備と新たな観光材料の発掘、島の魅力発信、現実的な集客を行う、以上の三要素を軸

村役場の機構改革はどうなったか？

問 村はどんな機構改革の腹案を持っているのか？

答 複数の課、係にまたがる行政サービスを一つの窓口で受付を提供する住民サービス課を新設する。福祉関係の係、さわやか健康センター、保育園、勤労福祉会館を福祉けんこう課と一つにする。

問 どのような魅力ある産業に育成し将来性のあるものにしていくのか？

答 旅行者のニーズに合った形態に受け入れ側も合わせていくことが必要。

るよう説明していく。

問 再任用にはどのような方針で臨むのか？

答 この4月から始まるが、新規採用との兼ね合いを踏まえ、適正な定数管理を進めていきたい。

問 組織の改革、職員の人材育成について

清水欣吾議員



問 組織の改革、職員の人材育成、職員の人事管理について

答 組織の改革、職員の人事管理、職員の人事管理について



機能をとあるが、一階のカウンターを修繕し対応することはできないのか？

答 一階の受付カウンターは、組織改革と合わせて検討していきたい。

問 副村長まで個室に入る必要があるのか？一階に移動してその部屋を「誰でも、何でも相談室」とし、住民、職員等の相談にあたる再任用の方々のオフィスとする考えはないのか？

答 再任用職員は、それぞれの部署へ配置。副村長が一階におりる件は、検討。

前田邦弘議員



定住化対策について

問 村長は施政方針の中で「子供からお年寄りまで夢や希望、生きがいそして誇りを持って生活する環境を作り、安心安全な島づくりに向けて努力する」と述べているが、具体的な方策について

お伺いする。

答 空き家バンクは『空き家等対策特別措置法』の施行により、積極的な登録推進活動ができるのでこれからより一層力を入れていきたい。

今後は総合戦略等の策定委員会の力を借りて推進を図っていきたい。

問 組織改革、職員の人材育成について

答 職員のスキルアップを図るための研修参加状況を伺う。

問 年間を通じ、講習会、研修会、資格研修等に各課でそれぞれ参加させている。

答 生命と財産を守る防災計画について

問 新島村の防災計画の見直しを早め、同時に防災委員会の開

催を多くして、住民と一緒に災害に強い町づくりを進めることが肝要と考えるが、村長の所見を伺う。

答 現在、防災計画の修正作業を進めているが、迅速化に努め、防災事業を計画的に順次進めていく。必要に応じて防災会議を開催し、自治体・消防団・その他関係機関と連携を密にし、組織づくりや訓練を実施する。

産業の振興について

問 今年度から国の地方総合戦略5か年計画がスタートする。

答 豊かな新島村の創生を住民とともに考察していくべきと考えるが、村長の考えを伺う。

問 まち・ひと・しごと創生法が施行され、各産業の後継者づ



くり等総合戦略に盛り込んでいく。
今年度は産業界全体の連携強化を図り、問題点を見つけ、各産業を活性化していく。
若郷地区の活性化について

問 現在、これといった産業も無く村全体が活力を失っている。
村長はこの現状をどのように考え施策を展開していくつもりなのか伺いたい。

答 若郷地区に限らず各地区とも人口は減少している。新島村全体の産業や人口問題も含めた対策に取り組み、各地区の活性化につなげていきたい。
特に漁業は新たな取り組みを模索していく。手始めに漁業体験等をはじめていく。

前田卓秀議員



羽伏浦海岸の整備

問 村長は昨年の住民公聴会で、羽伏浦海岸のメインゲート前に、サーフィンに

適した波が立つよう試験的に砂を入れてみたと言っていたが、実施できるのか？

答 現在、東京都にお願いをしているところで、夏前に実施できたらと考えている。



定住化対策について

問 空き家バンクの登録は2軒のみである。もう少し真剣に取り組むべきでは？

答 空き家バンクへの登録推進は、広報にいじまでの紹介や、昨年5月に固定資



木村論史議員



産税の請求書送付時に、お知らせを同封させていただいた。

問 空き家バンクに創業用の店舗の情報

を載せるのはどうなのか？

答 空き店舗の情報等も掲載可能なので、柔軟に対応する。

新島村の活性化の処方箋の具体的内容について

問 施政方針には、『人口の減少、

産業の疲弊などの課題を把握し、的確な処方箋を示す』とあるが、何が問題であり、その本質は何か、具体的に伺う。また、今何が強みとなるのか具体的に伺う。

答 観光では、一時期の何もしなく

ても観光客は来るという考え方から脱却できずに、その後、ニーズに的確に対応できなかったことも大きな要因の一つである。人口減少は、バブル経済の時に都市一極集中型が加速した。今は何が強みか、島という非日常的空間、人とのふれあいなど『人』である。

島を愛し、何とかしようとする人、いろいろな人の英知を結集していくことが重要。



新島村の活性化への具体的筋道の整理と共有について

問 施政方針には、『産業が活性化

しないと若い人たちが帰ってきません』という表現と、『新島を若い人達で賑やかにして、産業も活性化させて行き・・・』が混在している。その順序は？どのような事業でテコ入れしていくか？

答 まずは観光産業を活性化させることを考えている。



行政・議会・住民の連携における、行政からの具体的連携方法と姿勢について

問 役場職員が課長クラス以外で住民公

聴会にどれだけの人数で

どのような姿勢で出席したか。役場職員も住民が行っている事業に主体的に参加できたか、組織的に出席を促せたか伺う？

答 住民公聴会や住民主体の事業への参

加等は、個人の趣味嗜好やプライベートでの休息も必要であり、本人の自主性にまかせていきたい。

学校教育における問題の把握と、その姿勢について

問

児童・生徒を育む教育の現場での

課題把握・共有の姿勢について伺いたい。

答

平成26年度 新島小学校の教育活動

動に関する調査において、もっとも教員と児童で評価に差が開いているのが、教職員の児童理解の項である。小学校の活動について細かく説明し、親の背中を見て子供が育つ。地域を活性化する大人の見本・役割モデルが必要である。



議長の目^{アイ}ランド



去る2月23日、議員選挙後の初議会において議長に就任しました。よろしくお願い申し上げます。

議会は年4回3月、6月、9月、12月の定例会。他に臨時会、主な委員会として総務・経済各常任委員会がありますが、議会中継するのは本会議といわれる定例会と臨時会です。

ところが、議会中継するたびに画像が停止したり、消えたりと何やっているんだか、さっぱりわからないと視聴者からお叱りの声をよく聞きます。

光ファイバーケーブルになればすべて解決するといいつつ、今だに工事の見通しもたたない中、村執行部と議会は国、都の関係部局に要望・陳情を行っているところです。

何せ、未実施の島しょを光ケーブルで接続完成させるのに78?億円かかり、工期も15ヶ月を要するとのことで、一朝一夕には難しいが、多くの住民の悲願でもあるので、光ファイバー敷設を今後もねばり強く要望していきます。



議長 戸田 邦市

● ● 議長の四季報 ● ●

- 1 2 月 1 7 日 防衛省北関東防衛室長他 2 名が表敬訪問され、これに対応
- 1 月 3 日 新島村成人式が開催され、議長が新島に、副議長が式根島の成人式に出席
- 6 日 新島消防団及び式根島消防団の消防出初式に出席
- 1 8 日 新島村駅伝・ロードレース大会に出席
- 2 0 日 防衛省北関東防衛局長が表敬訪問され、これに対応
- 2 月 1 9 日 島嶼町村会と島嶼議長会は、衆・参議院、総務省、自民党本部等を訪れ、伊豆諸島の 5 村における超高速ブロードバンド早期整備について要望
- 2 3 日 平成 27 年第 1 回臨時会において戸田邦市氏が議長に選出
- 3 月 5 日 平成 27 年第 1 回議会運営委員会
- 9 日 平成 27 年第 1 回議会定例会（3 月 23 日まで）



編集後記

再び広報編集委員長を務めることになりました。本来ですと次の議員にバトンタッチするはずでしたが、議員の役職の分り振りの中で後任者の都合がつかなくなり、またしてもお鉢が回ってきたという次第です。もちろん理由如何にかかわらず全力投球で当たっていきます。

てあいさつや抱負を述べてもらいました。これからもこれまでと同様に住民のみなさんに「読んでいただく」ための工夫や努力を怠らず、その上で私たち議員の考えや活動にご理解いただくと、淡い願望を抱いております。

議員選挙が終わって新人議員二人にも広報の編集に携わってもらうことになりました。若い新鮮な柔軟な考えや行動力でさらなる紙面の充実を図っていただくと大いに期待しています。

今後、4 年間よろしくお願いいたします。

● 広報編集委員長

山本 均

今号の記事は 3 月定例会の議事が中心となります。選挙後、初めての本格的な議会ということもあって一般質問は 5 名の議員が質問に立ち、活発なやりとりがありました。「議長の目ランド」は新議長が就任しましたので、みなさんに向け

